

# 365日の

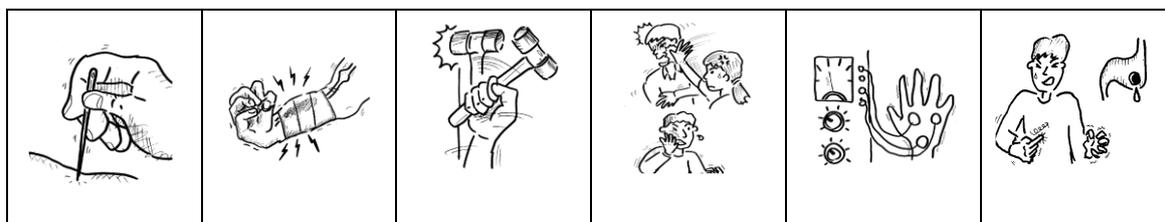
# ワークシート

手話、日本語、そして障害認識

全国のきこえない教員が、きこえない子どもたちに贈る待望の本。ろう学校・支援学校の児童生徒はもとより教員や保護者、また成人ろう者・手話講習講師も使えるオールラウンドな自立支援ツール。裏ページに「指導のポイント」を記載しているので、授業や手話講習の楽しみが広がります。

## サンプル 擬音語・擬態語

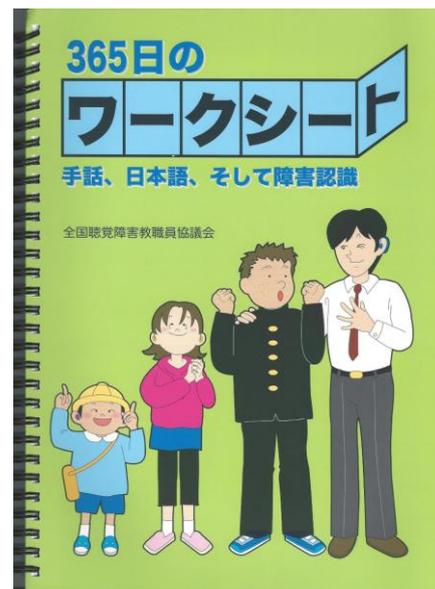
(例) 次の痛み方に合う言葉を、「ずきずき」「ぴりぴり」「がんがん」「きりきり」「ちくちく」「ひりひり」からえらんで書き入れましょう。



( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

## 指導にあたって (次のページに記載)

- (1) きこえない・きこえにくい生徒にとって擬音語・擬態語の学習は、その音や状況を実際に理解できず、たいへん難しいものである。視覚的にも理解できるようにイラストを使って説明し、表現遊びやゲームなど、楽しく学習できるような工夫がほしい。
- (2) ワークシートにあげたような例の他にも、雨の降り方 (ぽつぽつ、しとしと、ざーざー、さめざめ、)、泣き方 (えんえん、わんわん、しくしく、めそめそ、おいおい、ぼろぼろ)、などに関する擬音語・擬態語の理解も容易ではないだけに種々の工夫が大切である。



## 推薦のことば

### ●待ちに待った素晴らしい内容の本

全国の多くのきこえない教員がご自身の子どもの頃からの経験をふまえながら、どのような教えられ方をすれば子どもたちがより理解することができるかを中心に、経験の浅い教員や保護者でも理解できるようにわかりやすく作られています。一つ一つの問題が、きこえない・きこえにくい子どもたちの生活実態をしっかりと踏まえた問いかけになっており、子どもたちが遭遇しがちな場面を想定して作られていますので、ご家庭でも大いに役立つものと思います。(全国難聴児を持つ親の会顧問 稲田利光)

### ●聴覚障害の先生方の経験・知見から学ぶ

聴覚障害の子どもに知って欲しい知識、子どもから表現して欲しい内容、思考のときに使って欲しいことば、そういうことを投げかける設問がたくさん盛り込まれています。その中には、聴覚障害の先生だからこそ気づくことができた内容が込められています。このワークシートの発刊を契機に、日本中の聴覚障害教育を預かる指導者の方々にそのことを知っていただけたらと思います。(国立特別支援教育総合研究所 藤本裕人)

### ●親たちもこんな本を待ち望んでいた…

初めて我が子がきこえないと知った時、きこえる親として、きこえないことはどういうことなのか、これからどう育てていけばいいのか悩み、不安を覚えます。・・・そういった親達にとっても待ち望んでいた本です。幼稚部から高等部・高校を卒業するまで必要となる知識がこの本には詰まっています。ぜひ多くの保護者の方も手に取って、お子さんと楽しみながら活用して欲しいと思います。

(元大阪市立聴覚特別支援学校PTA会長 森英子)

**ご注文について** 以下の設定は2015年4月1日以降のものであります。

①申込み・お問い合わせ 出版部 365work2011@gmail.com (fax 06-6629-6095)

頒価 2500円→メール又はファクスにて、冊数、お名前、送付先、メールアドレスまたはファクス番号をお知らせください。送料も含めた合計金額と送金方法(口座番号)をお知らせします。

②一括注文の割引について

10部以上 2300円、20部以上 2100円、30部以上注文 2000円

5部以上注文の場合、梱包代・送料は出版部が負担します。